(5)　逆走関係

① 逆走発生件数の推移と発生箇所

・H23年～R7年で3,171件発生、年間平均で211件発生　（概ね2日に1回以上）

・うち約6割はIC・JCTで逆走を開始

暦年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
発生件数	211	209	143	212	259	249	207	200	200	148	188	204	224	220	297	3171
IC・JCT	96	113	84	106	158	151	125	115	129	85	118	128	142	161	204	1915
SA･PA	19	14	10	15	15	13	12	12	17	5	11	12	11	9	12	187
本線	34	33	26	56	67	38	45	35	36	33	37	37	46	27	53	603
その他	0	2	0	2	1	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	10
不明	62	47	23	33	18	47	24	37	18	25	21	25	25	23	28	456

データ：H23～R7 年の高速道路（国土交通省及び高速道路会社管理）における事故または確保に至った逆走事案（全 3,171 件）

出　典：警察の協力を得て国土交通省・高速道路会社が作成

② 逆走事故件数の推移

・逆走発生件数に占める事故の割合は約 2 割

暦年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
事故件数 逆走発生件数 全体に占める 事故割合	27 (13%)	43 (21%)	34 (24%)	50 (24%)	46 (18%)	57 (23%)	44 (21%)	32 (16%)	45 (23%)	26 (18%)	44 (23%)	44 (22%)	39 (17%)	50 (23%)	64 (22%)	645 (22%)
死傷事故	11	19	16	21	26	25	17	14	19	6	10	12	8	14	16	234
死亡事故	5	4	5	5	8	7	5	1	4	1	4	3	2	4	1	59
人身事故	6	15	11	16	18	18	12	13	15	5	6	9	6	10	15	175
物損事故	16	24	18	29	20	32	27	18	26	20	34	32	31	36	48	411

データ：H23～R7 年の高速道路（国土交通省及び高速道路会社管理）における逆走による事故件数（全 3,171 件）

出　典：警察の協力を得て国土交通省・高速道路会社が作成

③ 逆走事案の特徴（H23～R7年の事案より）

・75歳以上の割合が高い（免許保有者の10%であるのに対し，45%を占める）

・過失または故意による事例が約6割，逆走の認識がない事例が約3割を占める。

運転者の年齢	逆走事案の運転者割合※1	（参考）免許保有者年齢構成※2
30歳未満	8%	13%
30～65歳未満	25%	62%
65～75歳未満	21%	15%
75歳以上	45%	10%

逆走開始時の認識	割合
過失または故意による逆走	62%
最後まで逆走の認識無し	27%
その他・不明・調査不能	11%

※1　1%が不明

※2　R6年度運転免許統計より

データ：H23～R7 年の高速道路（国土交通省及び高速道路会社管理）における事故または確保に至った逆走事案（全 3,171 件）を集計
ただし、逆走開始時の認識については、H27～R7 の逆走事案（全 2,396 件）を集計

出　典：警察の協力を得て国土交通省・高速道路会社が作成

④ 逆走事故の特徴（H23～R7年の事案より）

・逆走事故は，事故全体と比較して，死傷事故となる割合が約4倍，死亡事故となる割合が約35倍

種別	事故全体に占める割合（A）	逆走事故に占める割合（B）	B/A
死傷事故	9.0%	36%	約 4 倍
死亡事故	0.26%	9%	約 35 倍
人身事故	8.8%	27%	約 3 倍
物損事故	91.0%	64%	約 0.7 倍

データ：H23～R7 年計（(A) 全 77 万件の内訳 (B) 全 645 件の内訳）

出　典：高速道路会社が管理する高速道路の状況（高速道路会社調べ）